

2024 | 学校案内

Open the door to the future

未来の扉を開く



学校法人 滝学園 滝中学校



TAKI

JUNIOR
HIGH
SCHOOL



本館

未来の 扉を開く

Open the door to the future



創立者 滝信四郎先生の像

受け継がれた 建学の精神を

新しい未来の礎に

滝学園は、明治から昭和にかけて実業家として成功を収めた滝信四郎が、「自分を育ててくれた故郷から将来大いに活躍するであろう青少年を育てることこそ最大の恩返しである」と考え、「質実剛健」「勤勉力行」「報恩感謝」を建学の精神として設立しました。創立者のこの精神を私達は以下の教育理念と教育目標に発展継承しています。

質実剛健

「実」のある豊かな人生を結実させるためには、人格的にも知的にも中身の充実した質の高い人間性が求められる。そのためには、強く柔軟な精神力と、健康で健全な身体が必要である。

勤勉力行

高い理想に向かって、強い意志を固め、ひたむきにかつ貪欲に努力を続ける行動力のある人間が求められる。

報恩感謝

社会の発展が個人の幸福を保障し、個人の向上が社会の発展に貢献する。人間と人間とのつながりを大切に、人々のために努力する感性豊かな人間が求められる。

滝学園の歴史

- 1926 大正15年 滝実業学校(農・商)を創設する。
- 1947 昭和22年 滝中学校(男女共学)を併設する。
- 1948 昭和23年 学制改革により、滝実業高等学校(農・商)となる。
- 1949 昭和24年 高等学校に普通科を増設し、男女共学校となる。
- 1964 昭和39年 校名を変更し、滝高等学校となる。
- 1967 昭和42年 畜産園芸科(農業科)募集停止。
- 1998 平成10年 商業科募集停止。
- 2000 平成12年 滝中学校と滝高等学校普通科の6年一貫校となる。

本館、講堂、図書館の3つの建物は国の登録有形文化財に認定されています。



講堂



図書館



滝中学校
校長 原 博司

校長あいさつ

私達の使命(ミッション)は、学園に集うすべての生徒の夢実現に貢献することです。そのために、

- 愛情をもって最高水準の教育を行います。
- 生徒のためにすべてを優先して行うことを大切にします。
- 学園の教職員全体の間をつなぐ信頼と尊敬を構築します。また、私達が尊ぶ精神は、固定概念にとらわれない進取の精神です。
- 私達はこれらを教育の指針として、滝学園に入学する生徒一人ひとりに入学前に期待した教育価値(進学・教養・スポーツ)に応えられ、入学後は願望価値(「この大学に入学できたらいいな」という新しい目標)を生み出す手助けができ、卒業後には予想外価値(自分が予想もしなかった喜びや感動を得る)や進学実績を付与できることを目指しています。



私たちは、
生徒一人ひとりと真摯に向き合い、
総合力に秀で、多様性に対する
寛容な姿勢を身につけた
魅力ある生徒の育成を目指します。

- 1 | 「知力」「体力」「教養」のバランスのとれた生徒の育成を目指す。
- 2 | それぞれの夢の実現にふさわしい志望大学に合格するだけでなく、その先に生きる確かな学力を身につけた生徒の育成を目指す。
- 3 | 自己の社会的責任を自覚し、周囲に対する優しさを持って、それぞれが歩むネットワークの中で、かけがえのない役割を果たす生徒の育成を目指す。

深める教育

昨今、教育界にも教育のICT化をはじめ大きな変化が起きています。
その柱は「新しい学力観」と「グローバル人材の育成」です。この2本の柱は、いずれも確かな「基礎学力」に裏打ちされた「専門」の力と深い「教養」を必要としています。私たちはその2本の柱を意識しつつ、日々の授業・学校行事を展開していきます。

広げる教育

私たちは、10数年前からT型人間、つまり「一」がジェネラリスト、「I」がスペシャリストの2つの力をもつ生徒の育成に努めてきました。現在では、「I」を2本に増やした元型人間、つまりスペシャリストとしてグローバル・マインドとローカル・マインドを備えた人材の育成を目指しています。

これからは、さらに「一」を2本に増やした“元”型人間、つまり確かな学力を持った、“元気”な生徒の育成を目指していきます。

支える教育

人間は不完全であり、弱い存在です。まして中高生はなおさらです。つまりいたり、悩んだりしたときこそ友人や教師がそばに立ち、自らの“不完全”さを自覚する力に目覚め、そこから新たにスタートできる体制[教育相談、進路相談、面談週間]を整えています。

学びがつながる6年間

中学校・高等学校の6年間は、生徒一人ひとりが子どもから大人へと大きく変貌していく時期。そして、自らの可能性を現実のものにするためのスタートの時期と言えます。この人生の中でもっとも貴重な時間をより有意義なものにするために、滝学園は中高6年一貫による教育環境を提供しています。



	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	基本的な生活習慣を確立し、体力の増強をはかる。自学自習の力を身につけ、基礎学力を養う。		将来に目を向けて、自己の志望を明確化する。広い視野を養い、学力の伸長をはかる。		模擬試験に積極的に参加し、応用力を養う。	大学入試に向けて実践力を養う。
授業内容	主要教科は十分な時間をかけてじっくり学習する。授業においては小テストを繰り返すことなどによって基本的な知識を確実にする。		高校受験のために立ち止まることなく、高校の学習内容に踏み込み、効率的に学習を進める。		英語・数学・国語については、教科書レベルの学習をこの学年で終了する。	大学入試問題の演習を中心に、志望校別の具体的指導を行う。
学級編成	ホームルーム(HR)・授業とも均等にクラスを編成する。クラスの編成替えは毎年行う。			HRは均等に編成する。授業は習熟度別クラスを編成する。		志望に従って文系・理系に分かれ、それぞれでHRを編成する。授業は習熟度別クラスを編成する。

中学校3年間の教育の特色

授業体制

通常授業を50分・週33時間[週5日制]で実施。これに長期休暇中の体験型授業・特別復習授業の時間と合わせることで十分な授業時間を確保しています。授業はすべてHRで行い、3年生からは一部の授業で高校の内容を前倒して行っています。



学習指導

英語・数学・国語を中心に各教科に十分な授業時間を配分し、授業中の小テストなども実施して基礎学力の定着を図っています。また、生徒一人ひとりを良く知ったうえで指導できるよう、担任が定期的に面談を行っています。

体験型授業

夏期の5日間(7月末)のうち、体験型授業として中1では英語のコミュニケーションプログラム、中2では校外体験活動を3日間実施。中3では5日間にわたり英語のグローバルスタディーズプログラムを実施。共同・協働の学びを行います。

特別復習授業

夏期の5日間(8月末)、冬期の5日間(12月末)実施する授業で、教科書の学習や既習範囲の復習・問題演習などを行っています。

火曜学習会 [フォローアップの補習授業]

定期考査の結果から、学習到達度・理解が不十分であると考えられる生徒に対して行われる補習授業で、火曜日の放課後から下校時刻まで実施しています。教科は英語と数学。各定期考査後に対象となる生徒を指名し、次の定期考査までの間はクラブ活動に優先して授業を受けていただきます。少人数で行われるため質問などしやすい雰囲気となっています。

この学習会の他、宿題などの課題提出が滞っている生徒に対しては、教科の担当教員が放課後に指導することもあります。

高校3年間の教育の特色

授業体制

通常授業を50分・週33時間[週5日制]で実施。これに、長期休暇中に行っている特別復習授業の時間と合わせることで十分な授業時間を確保しています。

高校1年生は均等のHRを編成します。授業は英語・数学・古文・漢文を習熟度別クラスで、他の教科は原則としてHRで行います。

高校2年生からは文系・理系に分かれ、それぞれでHRを編成します。授業は英語・数学・古文・漢文[理系は化学も]を習熟度別クラスで、地歴・公民・物理・生物は選択クラスで、他の教科は原則としてHRで行います。

高校3年生からは公立中学校等出身者と合流したうえで、理Iコース[理・工・農系志望者コース]、理IIコース[医・歯・薬系志望者コース]、文系コースの3コースに分かれ、それぞれでHRを編成します。授業は習熟度別クラスと選択クラスで行います。



学習指導

十分に確保された授業時間と精選された教材を使って難関大学・学部の入試に対応できる学力を養成しています。また、生徒一人ひとりの学習状況や進路希望を把握したうえで指導できるよう、定期的に面談を実施しています。

特別復習授業

夏期は10日間の、冬期は5日間の復習・問題演習授業を行っています。

朝の小テスト・課題テスト

朝のSHR前の10分間を利用して、週に1~2回、英単語や古文単語等の小テストを行い、基礎知識の定着を図っています。教科によっては、定期考査の中間期に50分間の課題テストを実施しています。

入試攻略授業

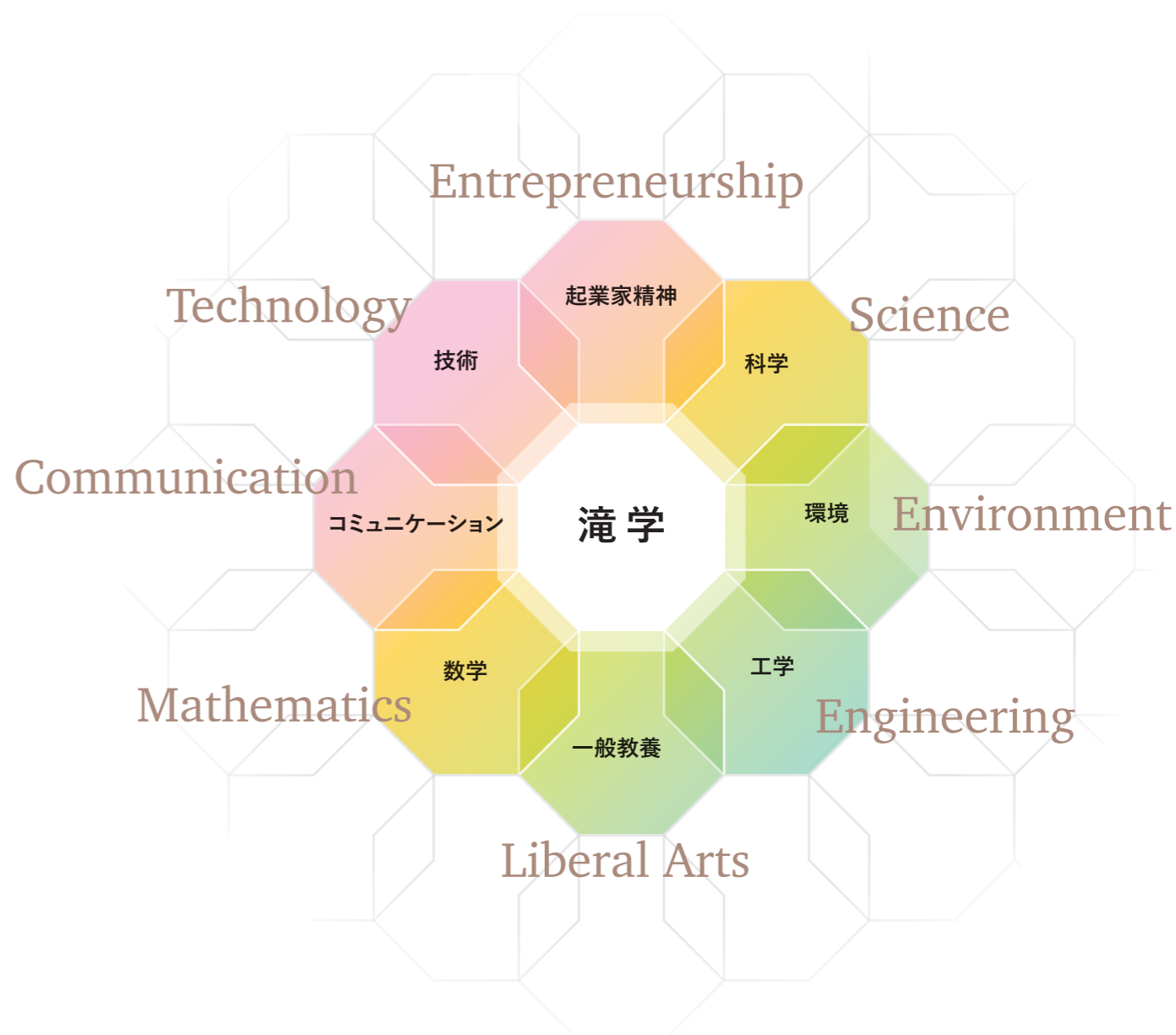
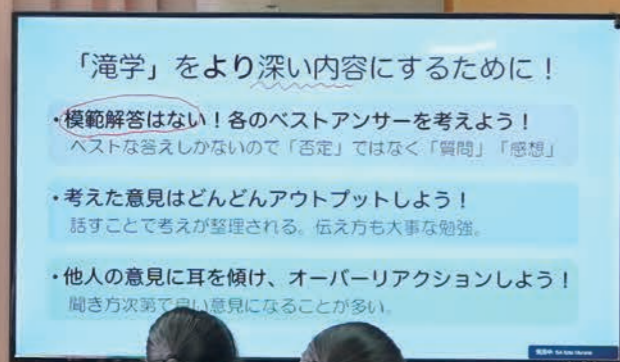
入試問題の攻略方法を授業内で解説する入試攻略授業を行います。夏期に志望する大学の過去問等を解き受験への意識を高め、冬期に受験する大学の過去問等の攻略を実践しながら、同じ大学を受験する集団を意識し、ともに最後まで戦い抜く仲間意識も高めています。

オープン講座

通常授業の放課後に、通常授業では取り上げにくい分野別・大学別の授業を希望制で行います。自学自習の姿勢や「深く」「広い」学力養成につながると考えています。

生徒参加型の授業「滝学」

生徒自らが考え、発信することに重点を置いたアクティブラーニング授業では、科学技術関連の教科から環境教育、建学の精神などさまざまな分野から独自のテーマを設定します。創立100周年を間近に控えた滝学園の新たな取り組みです。



「滝学」は、科学、技術、工学と数学等の教科の横断的教育(一般的にSTEM教育と呼ばれる)に加え、自分の考えを言語化する経験を与えること、起業家・実業家精神を養うこと、環境意識を高めることも目指します。生徒が自ら考え、意見をつくり、発信していくことに重点を置いた、生徒中心の参加型の形式で行います。学年や時期にふさわしい課題を扱い、適宜、学園にかかわる内容も題材としながら、滝に学ぶ生徒として大切にしてほしい心構えや将来に役立つ力を身につけてもらうことを目指します。

創立100周年を間近に控え、創立者滝信四郎先生の思いや、滝富夫理事長の考えや姿勢について具体的に学ぶことを手始めとし、学年に応じて、課

題発見力、考察力、表現力等を磨きながら、自己発見や自己肯定感の醸成につなげ、未来を生きる糧を与えるため、改めてまとめたものが「滝学」です。



学校法人 滝学園 副理事長 滝 祥夫(創立者の曾孫)

21世紀に求められる 力の獲得に向けた学び

新しい大学入試に向けては、文部科学省から次ページのI・II・IIIの観点が見られました。
この観点に基づいた教育が求められるとともに、「大学入学共通テスト」が実施されています。
滝学園では、こうした新しい動きに対する施策に、積極的に取り組んでいます。



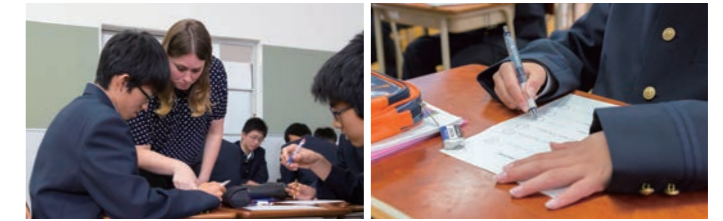
新しい観点

I

基礎的な知識および技能を獲得させること。

滝学園の取り組み

今までの滝学園の経験を発展させ、すべての生徒に「基礎学力の今まで以上の定着」を目指します。〔「鍛える教育」〕
英語4技能対策として、GTECや英検などの外部検定試験を積極的に利用します。



新しい観点

II

これからの時代に社会で生きていくために必要な「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」を育成すること。

滝学園の取り組み

中1では英語のコミュニケーションプログラム、中2では校外体験活動、中3では英語のエンパワーメントプログラムを実施します。
〔土曜講座〕というフィールドを十分に活用して教養に裏付けられた専門性を深めています。〔「深める教育」〕

土曜講座記念講演会の主な講師

アメリカ マサチューセッツ工科大学 教授
〔1990年 ノーベル物理学賞受賞〕
ジェローム・I・フリードマン氏

名古屋大学 教授
〔2014年 ノーベル物理学賞受賞〕
天野 浩氏



新しい観点

III

「知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」を育成すること。

滝学園の取り組み

クラブ活動の質の向上と各種大会への挑戦を通じて、アカデミックスキルを体得するように努めます。中3での卒業論文は、神戸大学文学部と連携して質の高い論文作成を目指しています。



Liberal Arts

土曜講座

年間9～10回程度、特定の土曜日に60分・3時間で土曜講座を実施しています。
この講座は、「学習講座」と「教養講座」に分かれ、通常の授業とは異なって希望制で実施しています。
講座数は全体で年間約550講座程度となっています。
(なお、公立中学校等出身の高校1年生は、土曜講座開講日に全員参加の特別授業を実施します。)

〔学習講座〕では、通常授業を補う『基礎学習講座』、『ハイレベル講座』や、理科の『実験講座』などのほか、高校では『入試対策講座』などを開講しています。

〔教養講座〕では、生徒たちの知的好奇心を刺激できるような講座開講を目指しています。大学教授や医師、弁護士をはじめ、文系・理系のさまざまな分野で活躍する専門家が、最先端の研究内容をわかりやすく紹介するものや、職業研究、スポーツ、料理、芸術、文化に関する講座など、知的バックグラウンドを持ったジェネラリストとしての素養を磨く機会を提供しています。
なお、近年は、在校生が講師になって講座を開くこともあり、土曜講座に新たな活躍・成長の場面が加わりました。

グローバル人材の育成

私たちが今日置かれている社会は「グローバル社会」というよりも「ボーダレス社会」と考えられ、日本のどこにいても海外の人との交流を求められます。

この「ボーダレス社会」を生き抜く覚悟と力を育成したいと考えています。

「ボーダレス社会」に対応できる人材育成の場は身近にも多くありますが、より海外の人々と触れ合う機会を求め本校独自のプログラムを提供します。



「教育のグローバル化・ボーダレス化」と「海外研修」

社会の「グローバル化」にともない、教育の世界でも

「グローバル人材の育成」ということがさかんに言われています。

「グローバル人材」とは、単に「英語が話せる」「海外生活の経験がある」といった人材を意味しません。

滝学園は次に示した力を備えた人をグローバル人材と位置づけ、

「新しい学力観」に基づいた教育により「グローバル人材の育成」を図ります。

グローバル人材

未知の分野・世界に好奇心を持って
飛び込んでいける勇気と行動力を持っている人。

困難に直面してもあきらめず
最後まで課題解決のために努力を続けることができる
タフネスを持っている人。

他者との協働のために、自身の考えを述べ、
相手の考えに心を開くことができる人。
そのための言語力(日本語・英語)を持っている人。

滝学園の取り組み

教育のグローバル化・ボーダレス化

中1
コミュニケーション
プログラム(全員)

中3
グローバルスタディーズ
プログラム(全員)



海外研修

中3
カナダ研修(希望者)

高1
アメリカ研修(希望者)

高2
イギリス研修(希望者)

+

高2
台湾修学旅行(全員)

コミュニケーション能力の礎のために

[体験活動を通して]

コミュニケーションには、言葉によるものや、言葉によらないものなど、いろいろな形のものがあります。
その中心にあるのは、「伝え合いたいと思う心」であると考えています。
その心を大切に育てられるよう、体験学習として、以下の様なプログラムを実施しています。

中1 コミュニケーションプログラム

コミュニケーションをとるとき、つい言葉に詰まってしまうなど、話すことに勇気が必要となることがあります。そういった場合の見えない心の壁のようなものを取り去ってあげたい、そして、伝え合うことの楽しさを味わってみたいと考えています。

小学校での英語の授業や、入学後の学習ペースに乗り切れていない生徒さんにも、ツールとして英語を使う楽しさを体験してもらえるように工夫しており、復習や新たな学習のきっかけになるはず。

プログラムの形態

ホームルームクラスを2分割した20名程度のグループでのネイティブ教師によるレッスン。
1日5コマで3日間。

主な内容

講師の出身国紹介	スピーキング・リスニング練習
ファンタイム	スピーチの準備と発表

※使用言語は英語



生徒の感想(抜粋)

- 授業中はほとんど英語で、よくわからないことがあっても、先生が教えてくれるので、わからないまま終わることは無かった。授業の内容は予想よりも楽しくて、特に「ファンタイム」が楽しかった。
- ゲームなどをしたことで英語への親しみが生まれた。スピーチをしたことで英語の自信を付けることができた。
- 外国の人たちは日本人とは全然ちがって、「みんな違って当たり前」という考え方で一人ひとりのことを大事にしてくれるので、とてもいいなと思いました。

中3 グローバルスタディーズプログラム

英語の基礎を固め、社会の仕組みを学びつつあるこの時期に、小グループでの意見交換を中心に活動をすすめます。その際、多様性に理解を深め、また、自己肯定感を高め、ポジティブシンキングを育てるようにしています。

活動中に、「Don't be afraid of making mistakes.」という掛け声があちらこちらから聞こえてきます。英語漬けの5日間を過ごす中、英語で話すことへの抵抗を減らし、それぞれの生徒は各自のプレゼンテーションでプログラムを締めくくってくれます。

プログラムの形態

各クラス、ファシリテーターによる指導の下、6名程度が1グループとなり、留学生1名がグループリーダーとして活動をリード。
1日5コマで5日間。

主な内容

留学生とのグループディスカッション	留学生とのプロジェクト活動
プレゼンテーション	留学生とのランチタイム

※使用言語は英語



生徒の感想(抜粋)

- 苦手だった英語の楽しさがわかるようになった。また外国へ行って、英語でコミュニケーションをしたと思うようになった。
- 海外からの留学生は、みんなそれぞれはっきりとした夢やこころざしを持っていて、とても感心した。
- 1日目は全く意見が言えず、苦労していたけれど、5日目は「もっと話したい!」と思うようになった。
- 英語を話すということはとてもむずかしいことではなく、回数を重ねれば意外とスムーズにできる、と感じるようになった。また、英語さえあれば海外の人とも簡単に心を通じ合えるなと思ったので、これから積極的に英語に取り組んでいきたい。

海外研修

※訪問地、人数などは変更されることがあります。

カナダ研修 (中3)

本学園の職員が本校の生徒の皆さんに合わせて、交流校を選び、オリジナルのプログラムを組み実施しています。世界への第一歩として、主に同年代の生徒(パディー)との交流を通して、世界を経験することとなります。現地では、いわゆる英会話の授業は排除し、学習した英語を実際に使う喜びを感じてもらえるよう工夫しています。

本校の生徒が、パディーと1対1となるよう配置し、いろいろなアクティビティに取り組み、草の根レベルで多文化主義、環境や福祉への取り組みを学んでもらうことを目指しています。この研修を通し、一生続く友好関係も築いてもらえます。

●中3:3学期終業式後、原則8日間、希望者から20名、自己負担



イギリス研修 (高2)

日本各地から高校生がロンドンに集まり、現地生徒・学生との意見交換を中心とした交流を行います。University College Londonの教授陣による講義、世界で活躍する日本人(本学園卒業生も含む)との対話イベント、ロンドン市内研修など有意義なイベントで盛りだくさんです。

新たな視点で日本や自分自身を見直すことも期待されます。本学園の卒業生の方々から、資金面、精神面のサポートをうけて参加できる点も素晴らしいことです。

●高2:夏休み中、原則10日間、高2生希望者から5名を選抜、自己負担金10万円
の他は卒業生・同窓会から補助を受け、UCL-Japan Youth Challengeに参加
※2021年・2022年はオンラインで実施



クラブ活動の海外交流

これまでの実績

- 柔道部/ハワイ(2023年3月 訪問)
- カンボジア(2022年3月 Web交流)
- 先進技術研究部/ハワイ(2018年3月 訪問)
- サッカー部/イギリス(2018年3月、2019年3月 訪問)

アメリカ研修 (高1)

世界の一流を見ることで刺激を受け、将来に対するグローバルな視点を持つきっかけにもらえるよう実施しています。ハーバード大学やMITの見学に始まり、講義や、現地で実際に学ぶ学生からの話を聞くことは、将来を考える上で役立つことと思います。グローバル社会で活躍するために必要と考えられている考え方や技術を身につけられるような英語研修も含んでいます。

●高1:夏休み中、原則10日間、希望者から最大40名、自己負担
※2021年・2022年は英語のスキルアップ&バーチャルプログラムを実施



コロンビア大学

ハーバード大学

台湾修学旅行 (高2)

台北を中心に国立故宮博物院、忠烈祠、龍山寺そして映画「千と千尋の神隠し」のモデル地といわれている九份などを訪ねます。

また、国立台湾大学のキャンパスツアー、台湾の大学生と一緒に別荘研修をするB&S(Brother & Sister)プログラム、現地の高校との学校交流など、台湾の大学生・高校生とのコミュニケーションを通して台湾の生活や文化を学びます。

●高2:12月、3泊4日





6年後を見据えたサポート

滝学園では、生徒の志望を第一に考えた進路決定を多角的にサポート。

学年・担任・学習指導部を中心に、保護者の皆様との連携のもと、文系・理系の選択から

学部・学科の選択、さらに志望大学の選定までの指導を行います。

その結果、生徒の多くが東京大学・京都大学、国公立大学の医学部医学科、さらに地元の名古屋大学など難関とされる大学・学部への進学を目指しています。

サポート体制

模試の分析と面談

本校では6年の間に多くの模擬試験を受けます。模試を受ける目的は、その時点での自分の学力を全国の中学生・高校生との比較で知ること、自分の弱点科目・教科・分野を知りそれを強化していくことにあります。

本校では、模試受験後の指導として、その結果や指導方針などを学年・学習指導部で分析・検討し、生徒との面談を行います。

個別の大学情報

少子化の問題やグローバル化などの影響を受け、大学入試にも大きな変化が起きようとしています。

本校では、こうした状況に対応できるように的確な情報収集を常に心がけています。得られた情報は、適切な時期に適切な方法で生徒や保護者の皆様にお伝えします。

講演会

本校では、土曜講座記念講演会をはじめ進路指導部が企画する進路講演会などに、大学の先生や実業界で活躍されている方など多くの著名な方をお招きしています。

これらの講演会は、生徒自身が各自の興味関心の枠を広げ、「学び方・将来の生き方」を考えることを通じて進路決定につながるものと位置付けています。

また、諸々の分野で活躍している本校のOG・OBを招いてキャリア教育にも取り組んでいます。

土曜講座記念講演会の主な講師

アメリカ マサチューセッツ工科大学 教授 [1990年 ノーベル物理学賞受賞] ジェローム・I・フリードマン 氏	獨協大学 教授 経済アナリスト 森永 卓郎 氏
アメリカ マサチューセッツ工科大学 教授 宮川 繁 氏	公益財団法人 平成基礎科学財団理事長 東京大学 特別荣誉教授 [2002年 ノーベル物理学賞受賞] 小柴 昌俊 氏
哲学者 梅原 猛 氏	東京大学 名誉教授 養老 孟司 氏
台湾中央研究院長 [1986年 ノーベル化学賞受賞] 李 遠哲 氏	日中友好協会会長 グローバルビジネス学会会長 元駐中国日本大使 丹羽 宇一郎 氏
作家 環境保護活動家 C・W・ニコル 氏	名古屋大学 教授 [2014年 ノーベル物理学賞受賞] 天野 浩 氏
数学者 秋山 仁 氏	株式会社リアルデア 代表取締役社長 (滝高等学校第26回卒業生) 前刀 禎明 氏
明治大学文学部 教授 齋藤 孝 氏	慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授 岸 博幸 氏
名古屋大学大学院理学研究科 准教授(素粒子物理学) (滝高等学校第47回卒業生) 森島 邦博 氏	東京大学大学院 経済学研究科 教授 (滝高等学校第42回卒業生) 渡辺 安虎 氏

進路講演会 講師 [令和4年度]

高等学校では、進路決定や教養を高めるための進路講演会を定期的に開いています。

名古屋大学 准教授 永野 拓矢 氏
名古屋工業大学 参事 高木 繁 氏
文部科学省 野崎 光寿 氏
産業技術総合研究所 研究員 羽地 俊樹 氏
愛知医科大学 主任教授 三鴨 廣繁 氏

令和5年度入試 国公立大学

医学部医学科・歯学部・薬学部の合格者数

学部・学科	計	現役	既卒
医学部医学科	52	35	17
歯学部	7	4	3
薬学部	12	9	3

令和5年度入試 主な大学の合格者数

国公立大学

大学名	計	現役	既卒	大学名	計	現役	既卒
北海道	11	7	4	大阪	3	2	1
東京	8	7	1	神戸	7	6	1
東京工業	3	3	0	九州	2	2	0
横浜国立	3	3	0	国際教養	2	2	0
岐阜	30	24	6	名古屋市立	25	18	7
名古屋	43	33	10	その他	56	38	18
名古屋工業	18	15	3	合計	229	173	56
三重	6	5	1				
京都	12	8	4				

私立大学(現役+既卒)

大学名	計	大学名	計
青山学院	11	早稲田	22
慶應義塾	28	愛知医科	23
国際基督教	2	南山	36
上智	22	藤田医科	32
中央	25	同志社	72
東京理科	47	立命館	81
法政	28	関西学院	18
明治	33	その他	283
立教	5	合計	768



School Life

共に学び、ふれあう日々

体育大会・文化発表会・体験型学習・修学旅行といった学校行事を抜きにして
 中学校生活を語ることはできません。
 生徒会が中心となって、全力をあげて準備に取り組む体育大会・文化発表会は
 本校の一大イベントです。



年間行事

滝学園の教育の柱の一つである集団活動。
 1年を通して繰り返られる学校行事やクラブ活動をはじめ、
 学校生活のさまざまな場面で
 人間関係の大切さを実感できる機会を提供し続けます。



4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
<ul style="list-style-type: none"> ■ 入学式 ■ 始業式 ■ 宿題テスト ■ 新入生 オリエンテーション ■ 土曜講座記念講演会 ■ 遠足 ■ 面談週間 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第1回定期考査 ■ 中3修学旅行(九州) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中1授業参観 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第2回定期考査 ■ 終業式 ■ 尾北支所 総合体育大会 ■ 体験型授業 中1:コミュニケーション プログラム 中2:自然体験学習 中3:グローバルスタディーズ プログラム ■ 中1音楽的行事 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別復習授業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 始業式 ■ 宿題テスト ■ 文化発表会・ 体育大会 ■ 面談週間 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第3回定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中1美術的行事 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第4回定期考査 ■ 面談週間 ■ 終業式 ■ 特別復習授業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 始業式 ■ スタートアップテスト (到達度確認テスト) ■ 模擬試験(Z会) ■ 球技大会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ カルタ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第5回定期考査 ■ 卒業式 ■ 終業式 ■ 中3カナダ研修 [希望者]



年間行事は新型コロナ感染拡大前の通常時のものです。



野球部(男子)

バレーボール部(男子)

バレーボール部(女子)

陸上部(男女)

剣道部(男女)

サッカー部(男子)

ハンドボール部(男子)

水泳部(男女)



卓球部(男子)

バスケットボール部(男子)

バスケットボール部(女子)

ソフトテニス部(男子)

ソフトテニス部(女子)

柔道部(男女)

運動部

Club Activities

クラブ活動

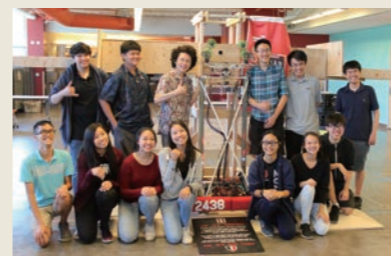
こころの力を育む時間

今後、大学それに続く社会で求められる人間像は単に知識の量を多く持っている人間ではなく、身に付けた知識を活用して自らの周りの環境を主体的に変革できる人間です。そのためには、共同意識や協働性や共感できる力が培われていなければなりません。そのような心や力の育成にクラブ活動が果たす役割は大きいものがあります。滝学園はクラブ活動を大切な教育活動と考えます。

ただ、従来ややもすると「勝利主義」になり、生徒の生活のほとんどがクラブ活動に費やされてしまうというケースもありました。私たちは、学習活動や学校行事やクラブ活動が一人の生徒の中に共存でき、その共存の割合は生徒自らが決定できることが望ましいと考えています。そのため、下校時間は年間を通じて午後5時30分としました。また、学校休業日などの活動は年間最大60日までとしました。

文化部

クラブ活動を通じた海外交流 (過去の実績)



先進技術研究部/ハワイ(2018年3月)



サッカー部/イギリス(2019年3月)



柔道部/ハワイ(2023年3月)



美術部

自然科学部

ブラスバンド部

かるた部

合唱部

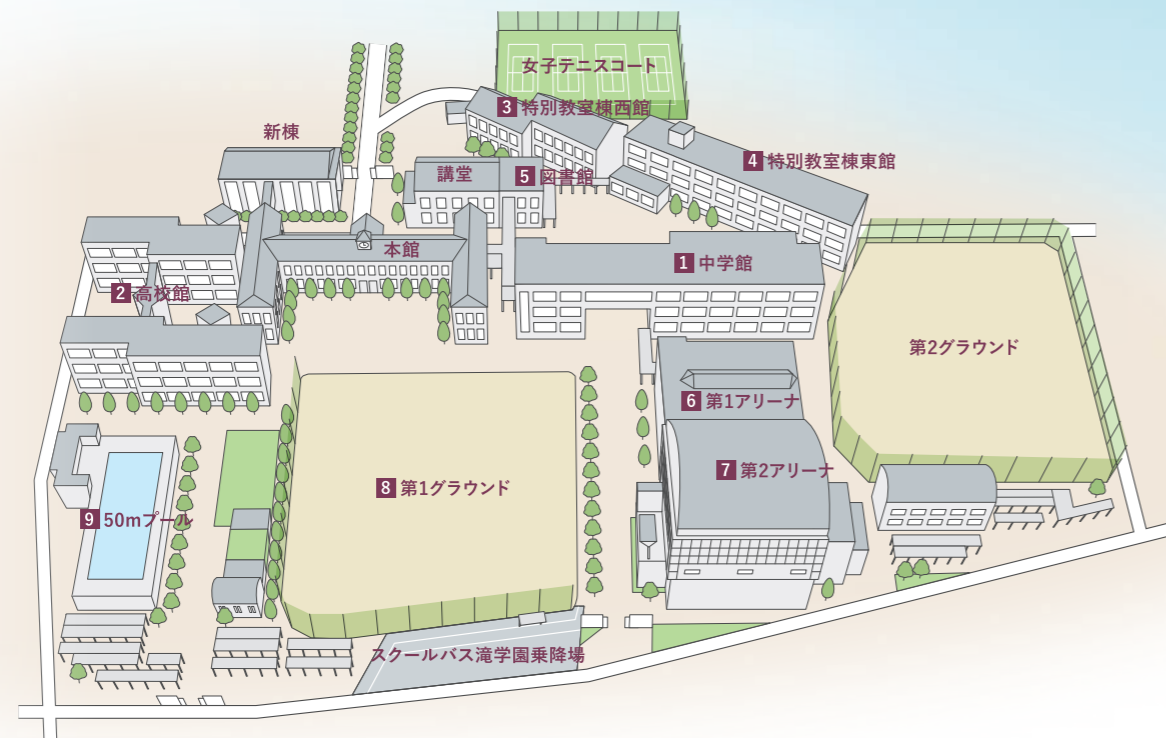
英会話部

先進技術研究部

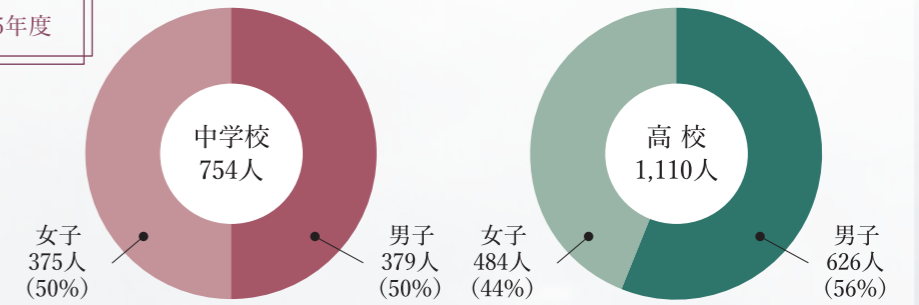
将棋部

充実した学校生活のために

本校は、78,000㎡(ナゴヤドームのグラウンド面積の約6倍)の
 広大なキャンパスに充実した学習・運動施設が配置されており、
 豊かで伸びやかな学校生活を過ごせます。
 それぞれの校舎は大樹に囲まれ、冷暖房を完備しており、静かな環境の中で
 落ち着いた授業が繰り広げられています。



男女比率 令和5年度



1 中学館



2 高校館



3 特別教室棟西館



4 特別教室棟東館



5 図書館



6 第1アリーナ



7 第2アリーナ



8 第1グラウンド

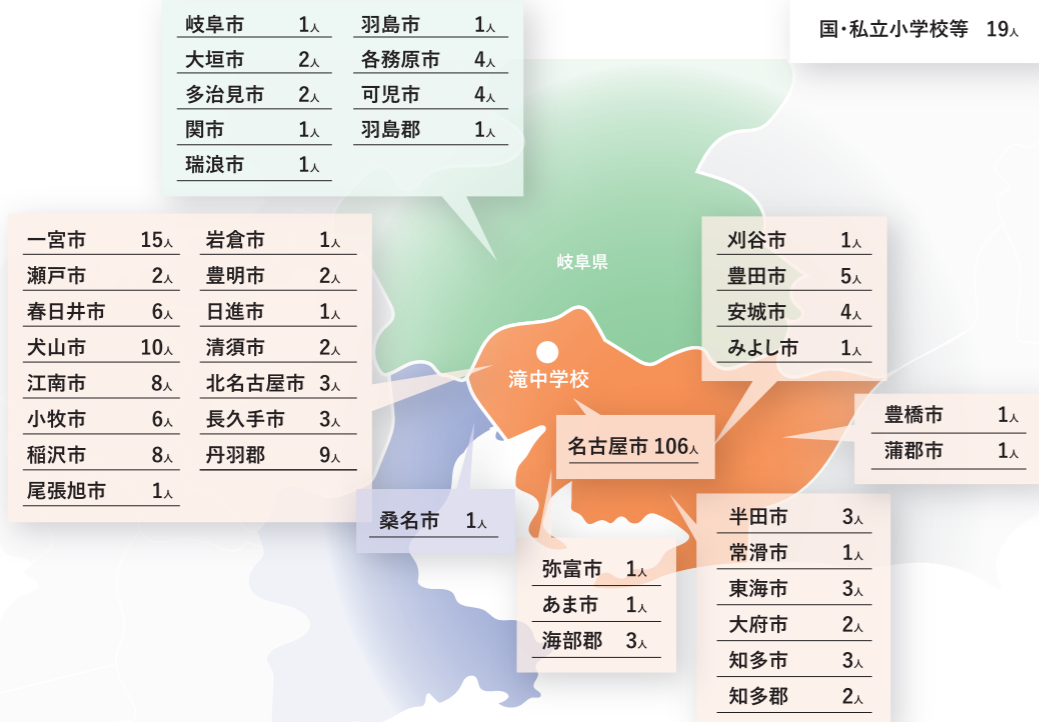


9 50mプール

安心して通える学校

最寄り駅の名鉄江南駅および名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅とは学園敷地内発着のスクールバスで結び、名古屋市をはじめ、愛知県内、岐阜県内の広い地域からのアクセスも良好です。また、校内敷地内に設置した監視カメラにより24時間体制で安全を見守っています。

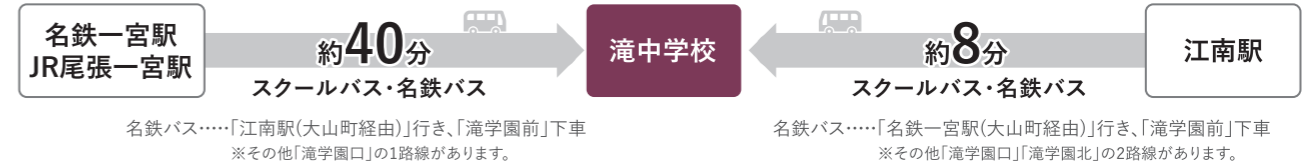
地域別入学者数 (令和5年度)



安全対策

BLEND	入学時にBLEND(校務支援システム)の保護者アカウントに登録していただきます。警報発令時に緊急下校をする際などにBLENDのメッセージ機能を利用してお知らせします。PC、スマートフォン、タブレットからご利用できます。
スクールバス	登校時と下校時に、江南駅/一宮駅と本校を直通で結ぶスクールバスを運行しています。本校の敷地内から発着するため、バス待ちの時間も多くの目で守られています。
スポーツドクター等	スクールカウンセラーはもとより、スポーツドクターの定期的な検診・相談を受けることができます。
保護者の皆様との連携	すべての保護者の皆様にとって、生徒諸君がどのような学校生活を過ごしているかということは最大の関心事だと思います。本校では、生徒諸君の学校生活の様子を、いち早く、詳しく、保護者の皆様にご覧いただくために、学年通信をはじめ、進路学習指導部・生活指導部・保健室等からの「通信」を発行し、保護者の皆様との連携に努めています。また、学級別懇談会(個人面談)、学年懇談会、進学説明会など学校と保護者の皆様との情報交換の機会を設けています。

交通のご案内



スクールバスについて

- 滝学園では江南駅と学園を結ぶ「江南路線」と、一宮駅と学園を結ぶ「一宮路線」の2系統のスクールバスを運行しています。
- 両駅と学園間を直行で運行します。
- 運行日は授業・土曜講座・行事のある日です。

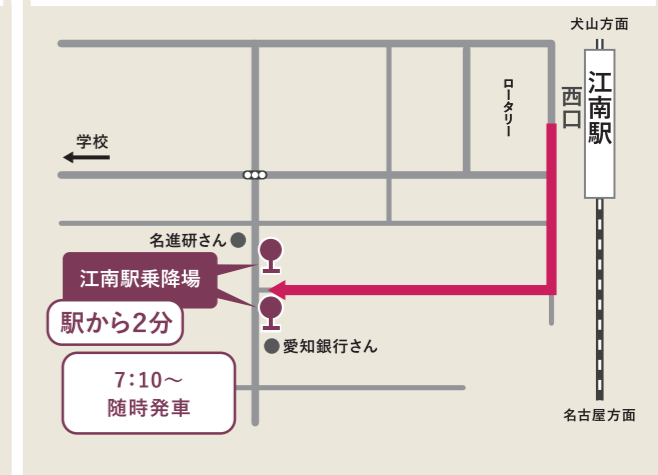
スクールバス 一宮駅乗降場



一宮路線

名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅を利用する生徒および駅近隣の生徒はスクールバスを利用することができます。(所要時間40分)
 往路 一宮駅西口発 7時00分、10分、20分、30分、40分
 復路 学園前乗降場発 授業後から下校時刻15分後まで 30分おきに運行

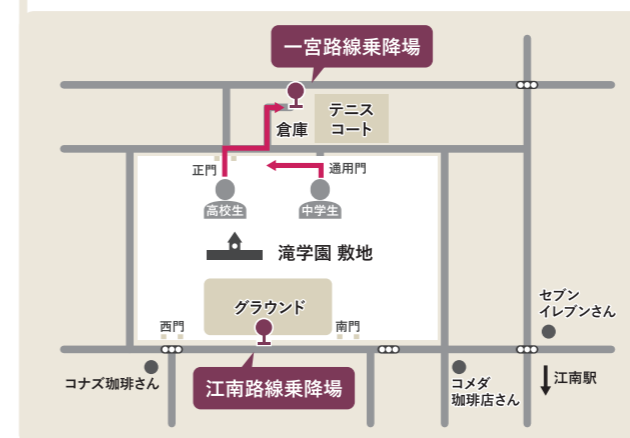
スクールバス 江南駅乗降場



江南路線

名鉄江南駅を利用する新入生は、必ずスクールバスを利用して通学します。(所要時間8分)
 往路 江南駅前発 7時10分以降、随時運行
 復路 学内乗降場発 授業後から下校時刻15分後まで 15分おきに運行

スクールバス 学園乗降場



滝教育研究所

学ぶ意欲を導きクラブ活動を支える施設

創立90周年を機に、若い教職員で作
り上げた100周年への道標が「滝2026
年への羅針盤」です。

その中で、「学校には文科省からの『縛り』と学園自らの『縛り』の両方があり、それは学校という組織においては必要不可欠であるが、もっと自由に、後期中等教育の教育や研究をパイロット的に実践して、それを滝学園の教育にフィードバックする滝学園の付属研究機関(滝教育研究所)が必要」と謳っています。

この主旨に賛同していただいた学園関係者により「滝教育研究所」が開設されました。この研究所は滝学園の教育をさまざまな視点から評価・点検して

いただき、学園の教育活動の力強い協力機関となると考えています。

滝教育研究所は、学校が終わった後、「もっと教えた先生」と「もっと教えてほしい生徒」が出会い、さらに深い教育・研究をしていくことを目的としています。

自習室、自主ゼミ室を設置し、土曜、日曜、さらに長期の休み中も開放します。このことは多くの生徒達や保護者の皆様が望まれていたことだと考えています。

また、学校休業日のクラブ活動について滝学園から業務委託を受け、学校休業日の活動を可能にしています。具体的な指導・試合参加などについては多くを滝学園のクラブ顧問の先生方をお願いしています。

滝教育研究所

所長
田中 秀幸
(本校OB)

講座部門

自ら学ぶ姿勢を掘り起こして、それを持続できる環境のもとで以下の講義を提供します。

- 滝学園の生徒のみに提供される講義
- 志望大学に見合った「基礎学力定着」のための講義
- アカデミックな授業、ディスカッションが展開される講義
- セミナー室、自習室の提供

例 高校と大学の接続研究機能、成績中位下位対策研究機能、英語教育研究、自習室・自主ゼミ機能、日本文化の「伝達」講座

公開活動部門

滝学園の教育のリソースを生かした、地域への公開講座の実施

例 文化財ツアー、幼稚園・保育園ツアー、円周率クイズ・ピラミッド

クラブ活動部門

学校休業日などのクラブ活動の支援、コーチの採用をサポートします。



株式会社滝教育研究所
〒483-8275
江南市古知野町久保見194
電話 0587-58-6310
FAX 0587-58-6311
URL <https://www.takied.jp/>

研究所からのあいさつ

滝学園では2016年、90周年事業の一環として、「滝2026年への羅針盤」が策定されました。この羅針盤には、今後の滝学園の目指す教育が示されています。この羅針盤に基づき、2016年の9月に株式会社滝教育研究所を設立いたしました。

私立大学では株式会社を持ち、その中で関連事業を行っていくというケースが多くあるようです。しかし、中学校高等学校においては、このようなケースは珍しく、まさに他に先駆けた画期的なことであると思います。

講師の先生方におかれましては、授業、クラブ指導、生活指導、進学指導等々で本当に忙しい毎日であると拝察いたします。そんな忙しい中であって、さらに御負担をおかけしてしまうことは誠に恐縮に存じております。また、その熱意が本当に有り難く、敬意を表します。

講座・クラブ活動について滝学園の先生方のご協力に感謝し、さらなる教育活動の充実を進めていく所存です。「滝2026年への羅針盤」が実現し、滝学園が将来に向けてますます充実、成長、発展されていくことの一翼を担ってまいります。

初代 代表取締役 社長
(元滝高等学校PTA会長)

受講生の感想

1つの問いに多くのアプローチをするため数学を広い視野で見ることが出来るようになったと感じる。

基本に立ち返ることができ、自分がおろそかにしていた部分分が分かって非常にためになった。また、基本的な考えから応用的なものまで幅広く教えてもらえるため非常におもしろい。

自分の解答や意見を持って取り組める授業でよかったです。発言の機会も多く受けて楽しかったです。

高度な知識や数学の本質に触れるところまで扱っているので興味深く問題に取り組む姿勢が変わった。

学校では聞けない講義が聞けて、またたくさん解法が聞けるのでとても勉強になります。いろんな解くための道具が増えて、また発見があるととても感動があるので楽しいです。

とにかく英文を要約する機会を作れるのがとても嬉しい。ターゲット(英語の参考書)だけでは分からない単語ができてきたりするのでそれも良く思う。あと授業がそこまでつらくなかった。



講座・自習風景

滝学園のICT活用と、その実践事例

2019年の暮れ、文部科学省は「GIGAスクール構想」を発表しました。「ハード・ソフト・人材が一体となった施策を推進して子供たちの教育ICT環境の整備が必要である。」「2024年度までにネットワークの完成、生徒一人一台のPCを完備する。」を目標に掲げました。次世代の学校・教育現場には、

- ◇学びにおける時間と距離の制約を取り払う[遠隔・オンライン教育]
 - ◇個別に最適で効果的な学びや支援のプロジェクト型学習を通じて創造性を育む[教養とSTEAM教育]
 - ◇校務の効率化
 - ◇学びの知見の共有や育成
- などが、ICT環境のもとで保証される必要があります。
(文科省・総務省・経産省等)
- 滝学園においても、これらの動きに先立ち、まず

ネットワークの再構築を2019年の夏に行いました。それは、文科省の「GIGAスクール構想の実現標準仕様書」をクリアしたものになっています。全教室に65インチ型モニターを常設し、「みらスク」を利用して電子掲示板、ライブ配信、PCやタブレットのミラーリングをし、生徒への視覚教材ツールとしての活用をしています。

また、生徒・教員とも日常的にiPadを利用し「ロイロノート」「Teams」「OneNote」などのアプリを利用し、生徒と先生の情報共有を行っています。

2021年9月、コロナ禍により感染拡大防止のため、生徒の分散登校を実施しました。学びの機会を継続し、できる限り高品質の学習環境を提供できるように、滝学園が一丸となってオンラインハイブリッド授業を実施しました。



写真はMicrosoft Teamsを利用し、クラスの半分は教室で、残りの半分は自宅で授業を受けている様子です。

知的好奇心を育む

ジャパンレヅジSchool

辞書・事典から叢書まで、学習に役立つコンテンツを一括検索・閲覧できるものです。また、新書なども450冊以上が読み放題です。いつでも・どこでも、調べ学習から読書まで幅広く活用できます。

収録コンテンツの一例

- 国語辞典
(日本国語大辞典・全文全訳古語辞典・角川類語辞典等)
- 英語辞典
(プログレッシブ英和中辞典・プログレッシブ和英中辞典)
- 百科事典
(日本大百科全書(ニッポニカ)・世界大百科事典・Encyclopedia of Japan等)
- 新書・叢書
(岩波新書・岩波ジュニア新書・ブルーバックス・新編日本古典文学全集等)



図書館 (電子図書館 LibrariE を含む)

滝学園の図書館が2024年にリニューアルする予定です。リニューアル後の図書館は従来の図書館とは違い、場所にとらわれずに利用できることをコンセプトにしています。

本の検索はWebOPACによりいつでも・どこでも可能!

新聞データベースを用いてiPad上で 新聞の切り抜きが簡単に検索・表示可能! (学内限り)

従来の紙の本はもちろん、電子図書館(ライブラリエ)も導入!

読書、調べ学習、探究活動、小論文やポートフォリオの作成など、主体的な活動のための幅広い情報収集が可能であり、学習活動を総合的にサポートします。

3年後に滝学園は100周年を迎えます!



100周年記念事業 情報センター(仮称)の新築完成予定図

1926年に創立の滝学園は3年後の2026年に100周年を迎えます。100周年記念事業の1つとして、多様な授業スタイルに対応可能なホールを持つ情報センター(仮称)を建築します。また国の登録有形文化財に登録されている「本館」「講堂」「図書館」の耐震改修工事を実施し、これらの施設を公開活用していきます。これに伴い本館にも図書閲覧室等を設け、滝学園の図書機能を図書館のみならず本館にも拡張し、さらに新棟と連結することで学園全体に「学びの輪」を提供します。



新棟内部完成予定図



本館(玄関)

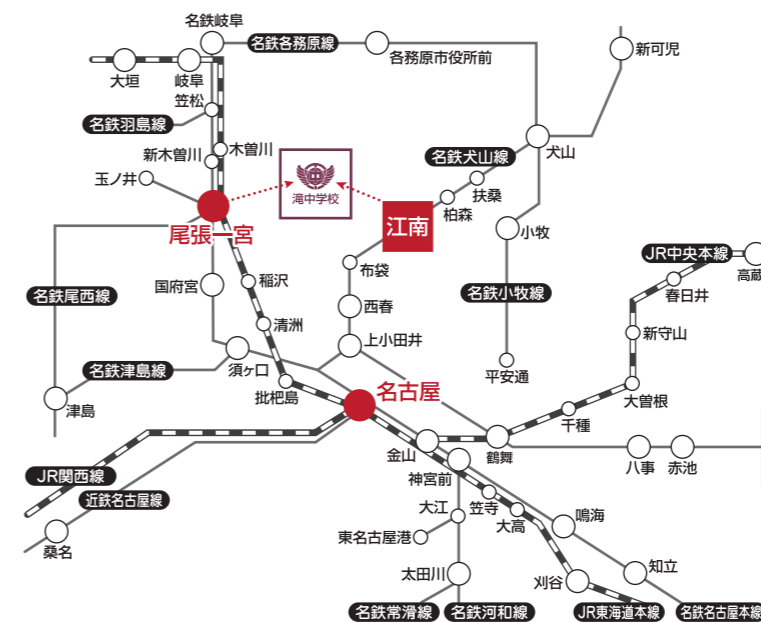


講堂(正面)

交通のご案内

主な駅から名鉄江南駅・名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅までの所要時間

名鉄・近鉄・JR利用の場合



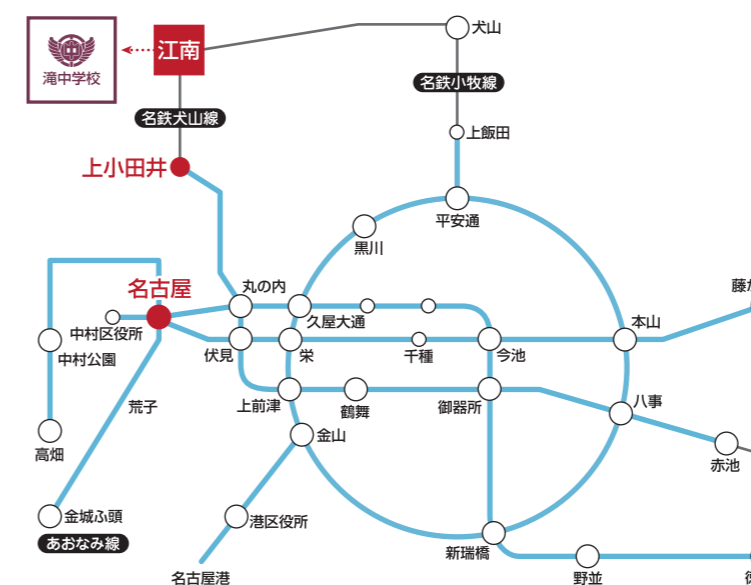
◎江南駅までの所要時間

名鉄名古屋 ……24分	犬山 ……10分
金山総合駅 ……30分	小牧 ……33分
鳴海 ……42分	新可児 ……35分
知立 ……45分	各務原市役所前 31分
上小田井 ……14分	桑名 ……53分

◎名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅までの所要時間

[名鉄利用]	[JR利用]
国府宮 ……6分	大垣 ……23分
津島 ……36分	岐阜 ……10分

名古屋市営地下鉄利用の場合



◎江南駅までの所要時間

赤池 ……52分	黒川 ……44分
八事 ……43分	徳重 ……59分
御器所 ……38分	新瑞橋 ……51分
上前津 ……31分	港区役所 ……46分
伏見 ……27分	高畑 ……44分
藤が丘 ……54分	中村公園 ……39分
本山 ……43分	金城ふ頭 ……69分
今池 ……38分	



学校法人 滝学園 滝中学校

URL <https://www.taki-hj.ac.jp>

〒483-8418 愛知県江南市東野町米野1番地

TEL.0587-56-2127 FAX.0587-56-1732



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。